

グローバル・カフェ×留学生センター共催「ブルネイ・ダルサラーム国イベント」を開催しました

2024年11月13日、留学生センターとの共催で「ブルネイ・ダルサラーム国イベント」を実施しました。さぬきプログラムに参加している Marya さん、Belle さん、Mahirah さん、Fazilah さん、Nabilah さん、Jasmin さん、Dayana さんよりブルネイ・ダルサラーム国（以下、ブルネイ）について紹介いただきました。留学生 21 名、日本人学生 4 名、教職員 3 名の計 28 名が参加しました。7 名はブルネイの伝統衣装を身に着けて来ていただきました。



ブルネイの公用語はマレー語(Malay)です。具体的には、公式文書などで使用される標準マレー語(Standard Malay)と、親しい人々との会話や地方での日常会話で使用されるブルネイ・マレー語(Brunei Malay)があり、いくつか発音や語彙が異なっているそうです。中国語や英語も一定の割合で使用されており、特に英語は第二言語として国内の人口 32%にあたる人が使用していると説明がありました。

国教はイスラム教で、国家の法律、政治、教育、文化に深く根付いており、スルタン（国王）は、首相であると同時にイスラムの最高指導者としての役割も担っていること、シャリアと呼ばれるイスラム教に基づく法律は、国の法律の一部として施行されており、イスラム教徒に対して厳格に適用されること、また、ラマダン（イスラム教徒が毎年行う約一か月間の断食）の月には、政府機関や企業の営業時間も短縮されることなどが紹介されました。



ブルネイは、昔から水上生活が盛んな地域であり、観光地としても有名な水上集落「Kampong Ayer」では伝統的な木造ボート「Perahu」が使用されているとのこと。一つ一つ手作業で木を削って作られた「Perahu」は、川や海での移動、漁業、観光ツアーなど、日常生活の中でも欠かせない存在なのだそう。そのほかの伝統工芸として、「Songket（金や銀の糸を練りこんだ布）」、「Tenunan（綿や絹を使った手織りの布）」といった織物があり、前者は、しばしば王族が特別な儀式で着用する華やかな布として、後者は、日常的に着用する服やスカーフなどの装飾品に用いられると続けました。

イベントが終わると参加者は、国家行事や宗教的な儀式、結婚式など特別な祝賀行事の際に着用されるというブルネイの伝統衣装に身を包んだ 7 名を囲んで、記念撮影を楽しんでいました。